MATLABによるGUIアプリの作成 ~Corey Correlationによる相対浸透率曲線の可視化~

相対浸透率(Relative Permeability)について

1 絶対浸透率とダルシー則

2 2相の相対浸透率

3 3相の相対浸透率

絶対浸透率とダルシー則2 2相の相対浸透率3 3相の相対浸透率

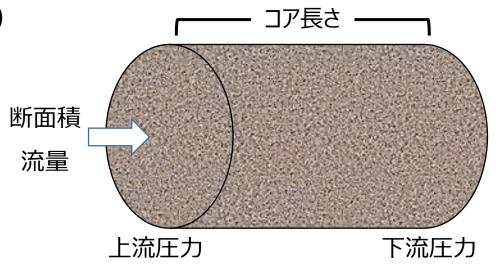
絶対浸透率とダルシー則

$$Q = -\frac{kA}{\mu_w} \frac{\Delta P}{\Delta L}$$

コア試験では、断面積、粘性係数、試料の長さは既知

→ 差圧と流量は比例し、その**比例係数が絶対浸透率**(粘性の圧

力依存を無視した場合)



 1
 絶対浸透率とダルシー則

 2
 2相の相対浸透率

 3
 3相の相対浸透率

水と油が混在する場合のダルシー則

• 水相

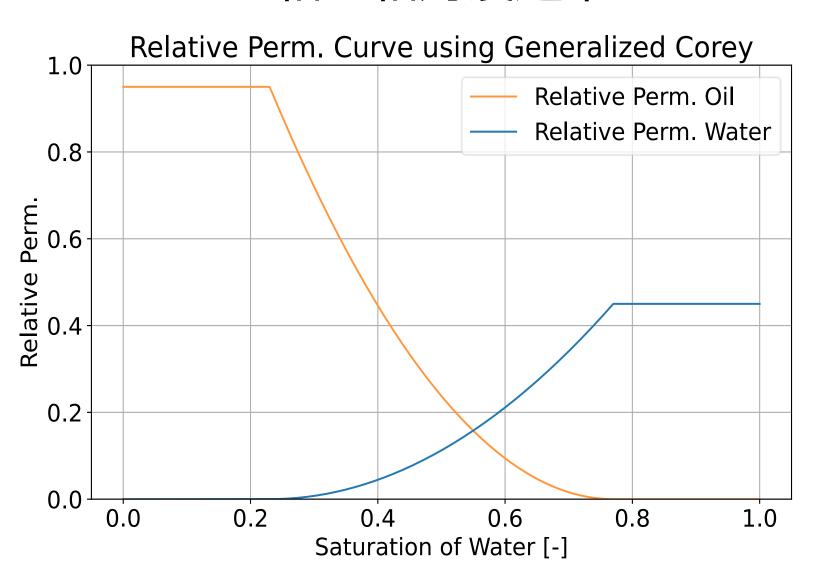
$$\boldsymbol{v}_{\boldsymbol{w}} = -\frac{k\boldsymbol{k}_{rw}}{\mu_{w}}(\nabla P_{w} - \rho_{w}\boldsymbol{g})$$

油相

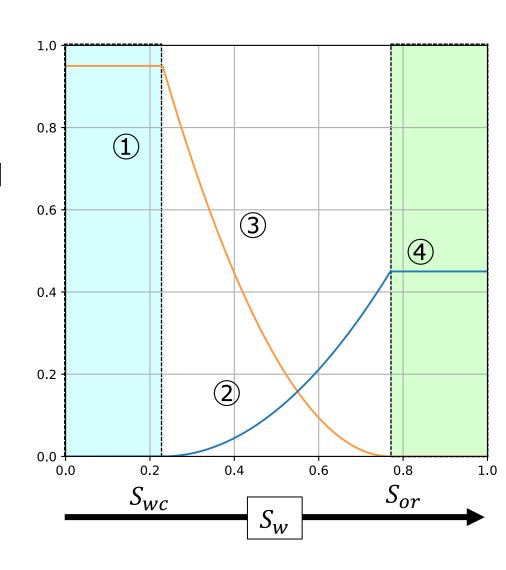
$$\boldsymbol{v_o} = -\frac{k \boldsymbol{k_{ro}}}{\mu_o} (\nabla P_o - \rho_o \boldsymbol{g})$$

有効浸透率の絶対浸透率に対する比を相対浸透率という。

※以下,毛細管圧力は無視する



- $S_w \leq S_{wc}$ で水の流動なし
- S_w が増加すると k_{rw} も増加
- S_o が減少すると k_{ro} も減少
- $S_o \leq S_{orw}$ で油の流動なし



- ・ 相対浸透率は油層解析における重要なパラメータ(の1つ)
- 2相の相対浸透率は実験で計測可能
- 相対浸透率を飽和率の関数として扱う様々な相関式が存在

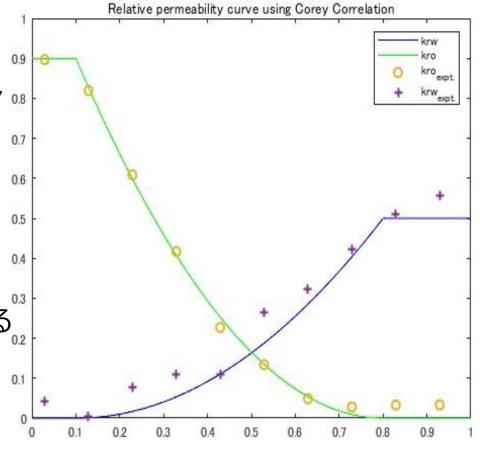
2相の相対浸透率(相関式)

Water / Oil System

$$k_{ro} = k_{rocw} \left[\frac{1 - S_w - S_{orw}}{1 - S_{wc} - S_{orw}} \right]^{n_{ow}}$$
 0.7

$$k_{rw} = k_{rwro} \left[\frac{S_w - S_{wc}}{1 - S_{wc} - S_{orw}} \right]^{n_w}$$
 0.5

実測値と相関式の曲線が一致する。ようにパラメータを調整するイメージ。



絶対浸透率とダルシー則
 2相の相対浸透率
 3相の相対浸透率

- 3相の浸透率は直接測定できず,次のような仮定をする。
- 1. 濡れ相と非濡れ相の相対浸透率は、濡れ相と非濡れ相、それぞれの飽和率にのみ依存
- 2. 中間濡れ相の相対浸透率は濡れ相と非濡れ相の飽和率に依存

濡れ相 中間濡れ 非濡れ相 岩石側を流れる 濡れと非濡れの間 なるべく岩石から離れたい

